



Minamiku Art Next
Collection
2026

FaN
Fukuoka Art Next

市政記者各位

令和8年9月17日
南区企画振興課

Minamiku Art Next Collection 2026

オーギカナエ(アーティスト) × 牛嶋均(アーティスト) × 原蜜((株)アートフロントギャラリー代表取締役社長)

スペシャルトークイベント「アートによる地域づくり」を開催します！

10月3日・4日の2日間、南市民センター／塩原音楽・演劇練習場において、市内の芸術学部・学科の学生や若手アーティストたちが一堂に会し、作品を展示するイベント「Minamiku Art Next Collection 2026」の特別プログラムとして、スペシャルトークイベントを開催します。

Minamiku Art Next Collection 2026 のゲストアーティストであるオーギカナエさん、FaNWeek 期間中にONE FUKUOKA BLDG. (ワン・フクオカ・ビルディング)で作品を発表される牛嶋均さんのアーティスト2名と、公共空間におけるアートプロジェクトや「瀬戸内国際芸術祭」^{えちごつまり}「越後妻有 大地の芸術祭」などの国内有数の地域芸術祭におけるプロデュースに携わってきた(株)アートフロントギャラリーから、代表取締役社長でありアートディレクターの原蜜さん^{はらみつ}をお迎えし、「アートによる地域づくり」をテーマとしたトークイベントを開催します。

福岡ではなかなか聞くことのできない貴重なトークを、ぜひ会場でお楽しみください！

スペシャルトークイベント 開催概要



Minamiku Art Next
Collection 2026

スペシャルトークイベント

アーティスト
オーギカナエ



アーティスト
牛嶋均



原蜜



(株)アートフロントギャラリー代表取締役社長
NPO法人越後妻有里山協働機構 事務局長

「アートによる地域づくり」 10/3(土)17:00~
参加無料

日時:令和 8年 10月 3日(土) 17 時 開始

場所:九州大学大橋キャンパス デザインコモン(南区塩原4丁目9-1)

定員:50人 料金:無料

登壇者:オーギカナエ(アーティスト)／牛嶋 均(アーティスト)／原蜜(株式会社アートフロントギャラリー
^{えちごつまり}代表取締役社長、NPO法人越後妻有里山協働機構 事務局長)

本イベントの広報・告知及び取材について、ご協力いただきますよう、何卒よろしくお願いいたします。
当日の取材にお越しいただける場合には、10月2日までに下記連絡先までご連絡をお願いいたします。

【問い合わせ先】 南区役所総務部企画振興課 (担当:吉村、松永)

TEL:559-5015(内線144-220) E-mail:minami-koho@city.fukuoka.lg.jp



Minamiku Art Next
Collection
2026

FaN
Fukuoka Art Next

スペシャルトークイベント
Special Talk Event

「アートによる地域づくり」

オーギカナエ × 牛嶋均 × 原蜜

2026.10.3^{Sat}
17:00-19:00

福岡市南区では、これからの時代を担う学生・若手アーティストのアート活動を支援する「Minamiku Art Next」を展開しています。本トークイベントは、同日に福岡市立南市民センターで開催している展覧会「Minamiku Art Next Collection 2026」の特別プログラムとして実施するものです。

Minamiku Art Next Collection 2026のゲストアーティストであるオーギカナエさん、FaNWeek 期間中に ONE FUKUOKA BLDG. で作品を発表される牛嶋均さん、公共空間におけるアートプロジェクトや瀬戸内国際芸術祭・越後妻有大地の芸術祭など地域芸術祭のプロデュースに携わってきた(株)アートフロントギャラリーから代表取締役社長・原蜜さんをお迎えし、「アートによる地域づくり」をテーマとしたトークイベントを開催します。福岡ではなかなか聞くことのできない貴重なトークをぜひ会場でお楽しみください。

会場 九州大学大橋キャンパス
デザインコモン
(福岡市南区塩原4-9-1)

定員 50名

料金 無料(要事前申込)

参加申込はこちら▶
(※応募者多数の場合は抽選)



アーティスト



Ohgi Kanae
オーギカナエ

1963年、唐津市生まれ。1984年武蔵野美術大学短期学部美術科油絵専攻卒業後「絵は空気を作るもの」という考えから空間をドローイングで覆う大型インスタレーションの作品など東京を中心にインド、シンガポールでも発表。1994年拠点を久留米市に移し、リサーチプロジェクト、ワークショップやパブリックアート、舞台美術など、よりインタラクティブな作品を発表する。

2017年の国際芸術祭「OPEN ART」(スウェーデン・オレブロ市)から始まった「スマイルの旅プロジェクト」を《スマイル茶室》内で人々が茶の湯を楽しみそこで得たスマイルを持ち帰ることを「モバイルスマイル茶会」として国内外で継続して行なっている。2025年「第1回松山湖ビエンナーレ」(中国・東莞市)では最新の《スマイル茶室》を発表。2025年「第3回福岡アートアワード」で優秀賞を受賞。

アーティスト



Ushijima Hitoshi
牛嶋均

1963年、福岡県生まれ。現在も福岡を拠点に国内外で広く活躍する美術家、彫刻家、パフォーマーである。1983年に九州造形短期大学グラフィックデザイン科を卒業後、田中泯に師事。パフォーマーとして海外を舞台に精力的な活動を展開した。帰国後は家業の遊具製作を手伝う傍ら、遊具の要素を取り入れた、触れて遊べる体験型の彫刻作品を手がけるようになる。また、全国各地で子どもたちと「基地」を作るワークショップを行うなど、社会や地域と深く関わるアート活動を続けている。

個展やグループ展のほか、国際的な芸術祭にも数多く参加。主な実績に、「第2回福岡アジア美術トリエンナーレ」(2002年)、「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」(2003年)、「金沢アートプラットフォーム2008」(2008年)、「奥能登国際芸術祭2023」(2023年)、「第1回松山湖ビエンナーレ2025」(中国・東莞市)などがある。

アートディレクター



Hara Mitsu
原蜜

(株)アートフロントギャラリー代表取締役社長(渋谷区猿楽町)。「大地の芸術祭」の企画・運営を行うNPO法人越後妻有里山協働機構(新潟県十日町市)の事務局長も兼任。様々なアートプロジェクトの企画・コーディネートを行うアートフロントギャラリーにおいて、会長の北川フラムがディレクターを務める「越後妻有 大地の芸術祭」「房総国際芸術祭 アート×ミックス」「瀬戸内国際芸術祭」「下呂 Art Discovery」など、各地の芸術祭の企画・運営に携わる。特に「大地の芸術祭」「房総国際芸術祭」では、芸術祭全体の企画立案から事業予算の策定・資金調整、各種関係機関・地域との調整、広報、ツアー、グッズ、食・宿泊、ボランティア、農業、会場運営に至るまで、事業全体を統括する。また、会期中のみならず会期外においても、企業や地域との連携を推進し、都市と地域の交流・交換を軸とした事業の継続と発展に向けた経営戦略を担う。芸術祭やNPOの持続的な運営を通じて、地域における雇用の創出・拡大にも取り組んでいる。

More Information

Minamiku Art Next についてはコチラ

note



Instagram



HP



協力

(株)アートフロントギャラリー

主催

南区役所総務部企画振興課 (☎092-559-5017)





Minamiku Art Next
Collection 2026

スペシャルトークイベント

Special 2026.10.3^{SAT} Talk Event

「アートによる地域づくり」

アーティスト

オーギカネエ



牛嶋均

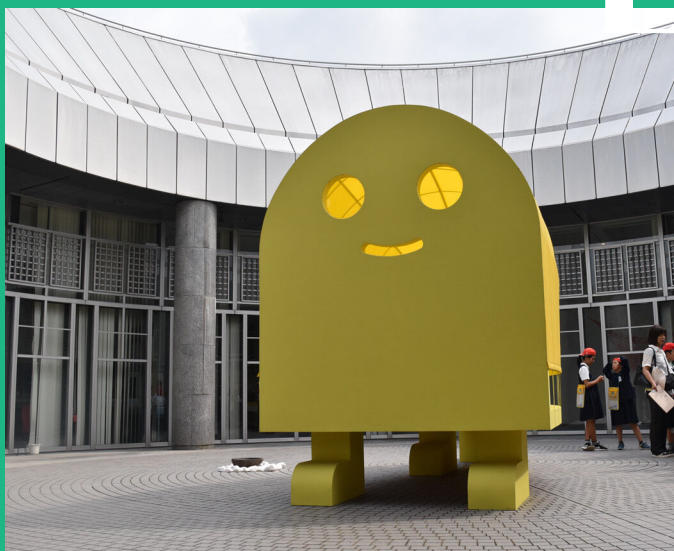


原蜜

アーティスト

アートディレクター

(株)アートフロントギャラリー 代表取締役社長
NPO法人 越後妻有里山協働機構 事務局長



オーギカネエ《スマイルの旅プロジェクト》 写真提供：広島市現代美術館



牛嶋均《荔枝屋頂-共栖之樹》



越後妻有 大地の芸術祭



マ・ヤンソン／MADアーキテツ《Tunnel of Light》Photo by Nakamura Osamu 写真提供：大地の芸術祭実行委員会

会場：九州大学大橋キャンパス デザインコモン

参加無料・要事前申込